



地元で生の舞台を観る感動を分かち合いたい

須賀川演劇鑑賞会の設立は1993年。会費制で非営利。最盛期には1000人近くいた会員も年々減少。自分たちの住む町で一流の演劇を観るためにも「会員数を増やしたい」と加藤さんは話します。2011年、東日本大震災後に会員の繋がりが腹話術師・いっこく堂のライブを開催。震災という未曾有の出来事の中で、明るい光をもたらした被災地での公演。会場は満席に。子どもたちの明るい声が響き、加藤さんは生の舞台の力を感じたそうです。

須賀川の文化の火を担っていききたい

「若い人は首都圏までお芝居を見に行きます。しかし年配の方はそうもいきません」。副会長の中野千佳子さんは、地元で優れたお芝居を観る環境を整えることが、高齢化社会に優しく、地域活性化にも繋がる道と考えます。仲間が集まり食事を共にしながらお芝居について語り合う「ランチ交流会」も開催。会員はもちろん、非会員でも参加できる交流会は、人々との繋がりを深めています。地元がもっと元気で豊かな文化を育んでいけたら。中野さんは演劇鑑賞会の活動が果たす役割に期待を込め、「須賀川の文化の火を須賀川演劇鑑賞会が担っていききたい」と力を込めます。

会員みんなで創っていく

圧倒的なライブ感、臨場感が支持を得ている演劇ですが、一方で多くの劇団が財政的に苦しい状況に陥っているのが現状です。演劇鑑賞会は、そうした演劇を守り育てる役割も担います。中野さんは演劇を「会員みんなで創っていくことが目的」と話します。

観るだけではない、関わることでより深く感じられるお芝居の魅力。演劇鑑賞会の原動力は、仲間と創り上げていく喜びにあるのかもしれない。



▲左上 運営を切り盛りする事務局長・加藤義弘さん  
右上 副会長の中野千佳子さん



◀鑑賞会の準備に励む会員の皆さん

## 夢千代日記 主演 今村文美さんインタビュー

—感動を届けていきたい—



ちょうど釈迦堂川の桜が満開で、桜堤の上立つ今村さんの姿は、桜色に溶け込みながら輝きを放ち、華やかさと美しさがありました。須賀川市の印象は「お寺が多いこと」。ウルトラマンの像など、もともと興味深く見えてきたそうです。

今村「劇団前進座が生まれたのは1931年。ですから、今年は創立85周年になります。歌舞伎劇、歴史劇、現代劇、ミュージカルと幅広く活動しています。昨年5月の国立劇場公演(番町皿屋敷)では、通常女形さんが務



▲釈迦堂川の桜の下でインタビューに答える今村文美さん

◀夢千代を演じる今村さん

める(お菊)役を私に挑戦させていただけました。今回の(夢千代日記)は、女優が大勢活躍する事が大きな特色でした。踊り、唄、三味線等が舞台で活かせる貴重な体験をさせていただきました。須賀川市では、鑑賞会の皆さんが演劇文化を伝えていらつしやる。とても素晴らしいことだと思えます。これからも、生の舞台と触れ合う劇場空間を楽しんで下さい。観て下さる会員さんの生の反応をいただき、私も感動を届けていき続けたいと思います。」

## 須賀川演劇鑑賞会

一人の心を突き動かす演劇の魅力—

映像では伝えきれない感情や思いが、役者の生の声を通してダイレクトに観客席に伝わる「演劇」。しかし地方で観る機会は決して多くありません。演劇という文化を守り育てる活動を続けている須賀川演劇鑑賞会と、4月公演の「夢千代日記」主演・今村文美さんに、思いや魅力を伺いました。

須賀川演劇鑑賞会第138回例会は4月6日、須賀川市文化センター大ホールで開かれました。公演は創立85周年を誇る劇団「前進座」。演目は「夢千代日記」。兵庫県湯村温泉を舞台に、芸者・夢千代が宿命と向き合いながら生きていく現代劇です。当日は早くから、搬入や会場の準備等で、たくさんの人たちが忙しく動き回っていました。受付や搬入搬出等を行うのは須賀川演劇鑑賞会の皆さん。運営は会員が行います。公演の内容を紹介する「演鑑だより」も会員の手作り。労力を惜しまず力を注ぐ原動力はどこから来るのでしょうか。

演劇鑑賞会は私の宝物です

須賀川演劇鑑賞会の会員数は現在400数十人ほど。3人以上のサークル単位で形成され、サークル数は60以上にのぼります。その運営を切り盛りするのが事務局長の加藤義弘さん。お仕事を退職後、先に入会していた奥様の勧めで会員に。「事務局長の仕事は大変です」と苦勞を滲ませますが、「いろんな人と会って話す機会ができました。(須賀川演劇鑑賞会は東北演劇鑑賞会に属するため)東北全部に知り合いができて、自分にとって宝物です」。感慨深げに活動を振り返ります。

役者さんと直接話す機会も

「交流会があり、役者さんと直接お会いしてお話しすることもできるんです」と加藤さん。上演後に出演者らと食事を交えて話すこともあり、演劇の奥深さや思いを直に聞くことも。貴重な機会を得ることができるのは、演劇鑑賞会ならではの言葉でしょう。

### 須賀川演劇鑑賞会 会員を募集しています

優れた演劇を身近なところで定期的に観るため、営利を目的とせず、月々会員が持ち寄る会費により運営。3名以上のサークルで入会可能。3人に満たない場合はお気軽に相談を。

<p>【会費】                  大人：入会金1,000円、月会費2,800円                  学生：入会金700円、月会費1,000円                  高校生：入会金500円、月会費500円                  小中学生：管理費年額500円                  ※会費は例会費と運営経費の合計</p>	<p>2016年例会(予定)会場：須賀川市文化センター                  5月25日(水) 劇団青年座「ブンナよ木からおいてこい」                  7月26日(火) 劇団東演 朗読劇「月光の夏」                  9月28日(水) イッツフォーリーズ ミュージカルコメディ「死神」                  11月29日(火) 劇団扉座「歓喜の歌」</p>	<p>【問い合わせ】                  〒9620838 須賀川市八幡 町119                  TEL/FAX 0248-73-2001                  受付時間：11:00～18:00(平日のみ)                  http://www.sukagawa-enkan.com</p>
---	---	---